

令和2年12月21日

No.66

## 「院長さん きいて！」への回答

「職員駐車場の近くで拓桃支援学校の先生の車にあおられた。朝の忙しい時間なのはわかるが、学生も通学で通る場所なのでとても危ない。こども病院の職員の方もかなりのスピードで走っていて危ないので注意して欲しい。」とのご意見にお答えします。

不安な気持ちにさせてしまい申し訳ありませんでした。

全職員に対し、いただいた内容を周知し、安全運転に努めるよう注意を喚起いたしました。

なお、拓桃支援学校へも内容を伝え、関係者への周知を依頼いたしました。

病 院 長

## 「院長さん きいて！」への回答

「どんな理由で「こども病院」を作ったのか？」と  
のご意見にお答えします。

こども病院設立の歴史は、1969年(昭和44年)に東北  
大学病院小児関連診療科が宮城県あてに小児病院設立要望書  
を提出したところからスタートしました。

その後、少子化が進行する中、宮城県では、次代を担う子  
どもたちを安心して産み育てられる環境づくりに取り組む必  
要性があるとの声が高まりました。

1997年(平成9年)には、こども病院の早期設立を求  
める20万人近くの署名が県知事に手渡されたことも追い風  
となり、2003年(平成15年)11月11日、全ての子  
どもたちが生きる喜びを感じ、命を輝かせることができるよ  
うにとの願いを込めてこども病院は開院いたしました。

現在、こども病院は東北地方で唯一の高度小児専門病院と  
して、未来を担うこどもたちを支える役割を果たすよう日々  
努めております。

これからも職員一同、こどもたちの権利を尊重し、こども  
たちの成長を育む心の通った医療・療育を行ってまいりますの  
で、引き続き皆様の温かいご支援とご理解をお願いいたしま  
す。

病 院 長

## 「院長さん きいて！」への回答

「入院する日、10時半に手続きを終え、外来、レントゲン、麻酔科の3カ所をまわって終わったのが13時過ぎだった。ちょっと時間がかかり過ぎだと思う。丁寧なことは大事だが、そのことよりも患者に負担をかけないことの方が大切ではないか。」とのご意見にお答えします。

この度は患者様及びご家族の皆様にご負担をおかけして大変申し訳ありませんでした。入院前に必要な検査を外来で行い、その後、麻酔科受診となりますが、各場所でお待ちになられたものとお察しいたします。

レントゲン等入院前の検査は、入院の際、より適切な医療の提供を行うため必要なものです。また、麻酔科診察についても、患者様の状態や症状を聴きながら診療を行いますので、状況によっては時間を要する場合もございます。恐れ入りますが、これらの点について、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

今後も、できるだけ待ち時間を短縮し、予約時間通りに診察するよう努め、ご負担をかけないよう心がけたいと思います。

なお、待ち時間の際に、ご不明な点がございましたら、遠慮なく職員へお声がけください。

病 院 長